

① 学習指導案

プログラム	No. 5 「地域のカルタを作ろう」
単元名 (全50時間)	「名瀬の谷戸のみ力を発信し隊」
学習のねらい	○名瀬のまちには、名瀬の里山があり、自然が豊かに残っている場所がある。 その里山での自然体験を通して、里山の魅力を感じてもらってたくさんの人に里山の魅力を知ってもらいたい。 ○里山を管理している人に出会い、その人の思いや願いを知り、自分たちにできる活動を考え実行していく。カルタを作って里山の魅力をアピールしていく。
学習内容	1 名瀬の里山に生き物の観察に行く 2 名瀬の生き物や自然体験を行い、里山の魅力を自分なりにまとめる 3 里山の魅力をたくさんの人に知ってもらう方法を考える 4 里山カルタの作成をする
参考資料 準備品 実施場所等	場所 名瀬の里山

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 ～ 5	1. 名瀬のまちのよさを発見 ○名瀬のまちはどんなまちなのか振り返る。 ・去年のまちたんけんをして名瀬のまちはどんなまちだったのか。みんなで話し合う。 ・まだ知らない名瀬のまちがあることに気付く。 ○名瀬の自然について調べる。 ・名瀬には里山があることに気付くように、横浜自然観察の森のレンジャーさんとの授業をする。 ・横浜自然観察の森のレンジャーさんから、名瀬の里山についての話を聞く。 ・集めた情報から里山の探検に行く計画を立てる。	○昨年度の社会で、名瀬のまちはどんなまちだったのか振り返る。  ○名瀬のまちで知らないところがあることが分かるように資料を提示する。  ○上郷宿泊体験学習で行くことになっていた、横浜自然観察の森のレンジャーさんの話を聞くことができることを伝える。  ○森のレンジャーさんとZOOMでの授業をする。 ○名瀬の里山をたんけんする計画を立てる。	
6	2. 里山のよさを発見 ○里山たんけんをして情報を集める。 ・里山たんけんをして、生き物の様子を観察	○どんなことを調べたいのか一人ひとり計画を立てる。	☆森レンジャーさんの話を聞いて、横浜の自然を保護している人の思いや願いを知ることができる。  ☆名瀬の自然を守ってい

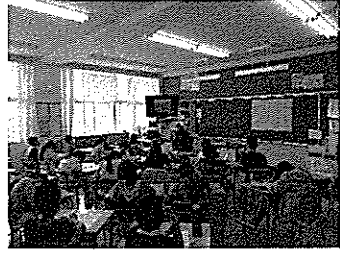

～	<p>したり、トンボ池の生き物を調べたりする。</p> <p>・里山を管理している人の話を聞いて、里山のよさを見つける。</p> <p>○集めた情報をもとにして里山のよさを見つける。</p> <p>・集めた情報から里山のよさをみんなに伝える。自分だけが知っていることをまとめる。</p>	<p>○観察カードをもとに、自然のよさに触れることができるように、里山を管理している人と打ち合わせをしておく。</p> <p>○里山を管理している人に里山の説明をしてもらい。里山の魅力を話してもらおう。</p> <p>○探検をして、分かったことをみんなで話し合い、里山の魅力がなにか、考えることができるようにする。</p>	<p>くための方法を考え、今後の活動の計画を立てることができる。</p> <p>☆里山を管理している人の話を聞いて、地域の人々が、里山のために活動していることに気づき、自分たちに、できることを考え、表現することができる。</p>
15	<p>○里山のよさをもっとたくさんの人に知ってもらうための方法を考える。</p> <p>・里山のよさを田中さん（森林インストラクター）に伝えよう</p>	<p>○遊びを通して、里山のよさを知ってもらうためにはかるたがよいのではないか。どんな人にもやってもらえるのは、どんなものかを考えるようにする。</p>	<p>☆自分が感じたことを、相手に分かりやすく表現することができる。</p>
16	<p>3. 里山のよさが伝わるようなかるたをつくろう</p> <p>○学校や地域の人に遊んでもらうための、かるたはどんなものがよいのか話し合う。</p> <p>・里山のよさをみんなで話し合い、どんなかるたにするのか、テーマを決める。</p>	<p>○よりたくさんの人に遊んでもらえるための工夫を話し合う。</p> <p>○テーマなどを決めてそのテーマに向けて自分たちで考えられるように何度も話し合う。</p>	<p>☆自分が気付いたことや感じたことを伝え合いながら、里山のよさを表現することができる。</p>
～	<p>○里山たんけんをもう一度する。</p> <p>・里山たんけんして、もう一度里山のよさを見つける。</p> <p>・里山を管理している人にインタビューをして、管理している人の思いや願いを知る。</p>	<p>○集めた情報を整理、分析して自分が伝えたいことを整理できるようにする。</p> <p>○アンケートの結果や自分たちの振り返りを読んで、成果と課題をみんなで見つける。</p>	<p>☆なぜ里山を探検しはじめたのか、活動のきっかけに立ち戻り、自分の気持ちを表現することができる。</p>
30	<p>○探検して集めた情報から、かるたの読み札にしたいと思う文章を友達に伝え合うことを通して自分の思いや友達の思いに気づき、今後の活動の見通しをもつ。</p>	<p>○里山のよさってどんなことだったのか、アンケートから読み取る。</p> <p>○アンケートをまとめたものを拡大して見やすくする。</p>	<p>☆かるたのよさについて、自分の考えを表現することができる。</p>
31	<p>○里山かるたをつくる。</p> <p>・集めた情報を分析して、どんな読み札や絵札がよいのか考えて作る。</p>	<p>○まちの良さが伝わるためには、どんなことが必要なのか、自分の考えをグループで伝え合う。</p>	
31	<p>4. 里山かるたを広めよう</p> <p>○作ったかるたを、みんなに試して広めよう。</p>	<p>○どんなことを伝えたいのか、困らないように、適宜掲示物を見るよう</p>	


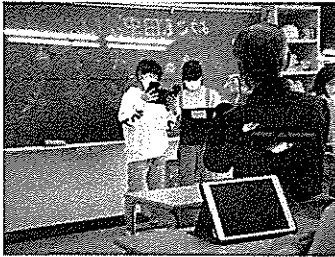
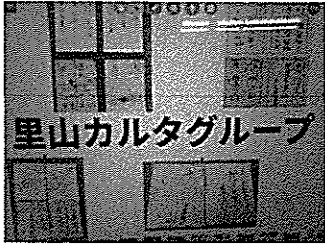
<p>～</p> <p>45</p> <p>46</p> <p>～</p> <p>50</p>	<p>・ペアの人を中心に、前項の人に知ってもら う計画を立てる。</p> <p>・休み時間やペア交流の時間に体験しても う。</p> <p>○体験してもらった人の感想を整理して、成 果と課題を分析し、次の活動の見通しをも つ。</p> <p>・感想をグラフにしたり、表にしたりして、 感想を整理する。</p> <p>○もっと里山かるたを広めるための方法を 考える。</p> <p>○かるたに親しんでもらうためのイベント を計画やかるた大会を開催する計画を立て る。</p> <p>○かるた大会や開催するためのポスターや 宣伝をする。</p> <p>○かるた大会を開催する。(校内)</p> <p>5. 里山かるたを学校に送ろう</p> <p>○名瀬小学校にかるたを贈る。</p> <p>○お世話になった方々や地域の方を招 待してかるたやまちのよさを伝える。</p> <p>○学校やお世話になった人にかるたを プレゼントする。</p> <p>○一年の活動の振り返りをする。</p>	<p>に声をかける。</p> <p>○作ったかるたは、自分たちや同じ 学年の人達に実際に体験してもら えるようにする。</p> <p>○一人ひとりが活躍できるように 役割を分担する。</p> <p>○情報を整理する方法、シンケン グツールを使って、情報を整理す ることができるようにする。</p> <p>○かるたの大会を校内に広めるた めの方法を考えさせる。</p> <p>○学校にかるたを贈ることで、もっ と里山のことを知ってもらい、好き になってもらえるような計画をたて られるようにする。</p> <p>○かるたを作るうえでだれにお世話 になってきたのか。振り返られるよ うにする。</p>	<p>☆自分が気付いたこと や感じたことを伝え 合いながら、自分の 成長やかるたを通し て人同士がつながっ ていくことを表現し 、次の活動の意欲を 高めている。</p> <p>☆かるたの学習を通し て、自分の成長を振 り返り、地域には、 里山の自然を保護し ている人に気付き、 かるたの魅力を再確 認することができる 。</p>
---	---	--	--


<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立名瀬小学校

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応		
1	教室	1. 名瀬のまちのよさを発見	<p>○昨年度の総合の時間のことや、社会の学習でのことを想起する。</p> 	<p>☆森のことを知らなかったけれど、こんなにも森があったことが分かりました。</p>		
2		○名瀬のまちはどんなまちなのか振り返る。				<p>☆横浜の自然について知ることができた。 ☆生き物を大切にしないといけないと思った。 ☆緑を大切にしようを思いました。</p>
		・去年のまちたんけんをして名瀬のまちはどんなまちだったのか。みんなで話し合う。				
3、4		・まだ知らない名瀬のまちがあることに気付く。				
	○名瀬の自然について調べる。					
		・名瀬には里山があることに気付くように、横浜自然観察の森のレンジャーさんとの授業をする。				
		・横浜自然観察の森のレンジャーさんから、名瀬の里山についての話を聞く。				

5～10	名瀬の 里山	<p>2. 里山のよさを発見</p> <p>○里山たんけんをして情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山たんけんをして、生き物の様子を観察したり、トンボ池の生き物を調べたりする。</li> <li>・里山を管理している人の話を聞いて、里山のよさを見つける。</li> </ul>		<p>☆里山には、たくさんの生き物がいることを知ってうれしかった。</p> <p>☆やまゆりがとてもきれいだった。神奈川県の花がやまゆりであることを知った。</p>
11～13	教室 名瀬の 里山	<p>○集めた情報をもとにして里山のよさを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報から里山のよさをみんなに伝える。自分だけが知っていることをまとめる。</li> </ul>		<p>☆インストラクターさんから、自然のことをたくさん教えてもらった。</p> <p>☆かたばみの葉で10円玉をこすると、10円玉がきれいになって驚いた。</p>
14、15	教室	<p>○里山のよさをもっとたくさんの人に知ってもらうための方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山のよさを田中さん（森林インストラクター）に伝えよう</li> </ul>		<p>☆竹林がとてもきれいだった。管理している人がいることを知った。</p> <p>☆もっと里山のことを知りたと思った。</p> <p>☆たくさんの人に里山のことを知ってもらいたいと思った。</p>
15～20	教室	<p>3. 里山のよさが伝わるようなかるたをつくろう</p> <p>○学校や地域の人に遊んでもらうための、かるたはどんなものがよいのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山のよさをみんなで話し合い、どんなかるたにするのか、テーマを決める。</li> </ul> <p>テーマ○里山の自然</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○里山の植物</li> <li>○里山の動物</li> </ul>		<p>☆テーマごとに里山のよさを調べることを通して、里山の自然について詳しく知ることができた。</p> <p>☆特に「やまゆり」は、神奈川県の花であり、それを昔は海外に輸出していたことを初めて知った。</p>
21～25	名瀬の 里山	<p>○里山たんけんをもう一度する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山たんけんして、もう一度里山のよさを見つける。</li> <li>・里山を管理している人にインタ</li> </ul>		<p>☆里山には、たくさんの生物がいることが分かった。バッタやカマキリ、名瀬メダカ、サワガニなど。</p> <p>☆桜や山椒、ぬるで、マテバシイ、孟宗竹など植</p>

26~28	教室	<p>ビューをして、管理している人の思いや願いを知る。</p> <p>○探検して集めた情報から、かるたの読み札にしたいと思う文章を友達に伝え合うことを通して自分の思いや友達の思いに気づき、今後の活動の見通しをもつ。</p>		<p>物もたくさんいる。 ☆フクロウやたぬき、台湾リスなど生息している。</p> <p>☆里山を守っている、森林インストラクターの方々は、里山の自然を守りたいと思っている。整備をしたり、ごみ拾いをしたりしていることが分かった。</p> <p>☆他の友達に里山のことを知らないから、里山のことを知らせたいと思った。横造紙やロイロで資料を作って発表したい。</p> <p>☆遊びながら、里山を知ってもらえるようにかるたを作ったらよいと思った。</p> <p>☆みんなで、どんな言葉や絵にしたらよいのか話し合って考えることができた。友達と協力することができた。</p>
29~35		<p>○里山かるたをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報を分析して、どんな読み札や絵札がよいのか考えて作る。</li> <li>・里山の写真を見たり、自分の振り返りを讀んだりして、テーマに沿ったかるたをつくる。</li> <li>・友達とアドバイスしあい、協力して作業をする。</li> </ul>		
36~46	教室	<p>4. 里山かるたや里山のよさを広めよう</p> <p>○作ったかるたを、みんなに試して広める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林インストラクターさんに里山かるたと里山のよさを伝える。</li> <li>・里山のよさが伝わる資料を作る。(ロイロ活用)</li> </ul> <p>○学年や学校に里山かるたと里山のよさを伝える。(朝会や休み時間)</p>		<p>☆作ったかるたを、クラスの友達や森林インストラクターさんと一緒に行うことを通して、ルールを守ることや里山のよさをお互いに思い出しながら活動をすることができ、より里山のよさに改めて気付くことができた。</p>

46～50	教室	<p>5. 里山かるたを学校に送ろう</p> <p>○学校やお世話になった人に里山かるたをプレゼントする。</p> <p>○一年間の学習のまとめをする。</p>		<p>☆学校やお世話になった人に里山かるたを送った。これからもっと、里山のよさを伝えていきたいという考えを強く持った。</p>
-------	----	--	--	---

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>地域の里山を材にし、環境教育の視点でも活動を行った。また、森林インストラクターさんと一緒に活動し、その方の考え方や思いにも触れることができた。かるたを作ることを通して、自分の地域に愛着をもつことができるように、できる限り、「人」に出会わせた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>特になし</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>○子どもたちは、自然が大好きになっていった。生き物が苦手であった子どもたちも数人いたが、生き物（とくに植物の種の保存の戦略等）を知ると、驚き、感心し、最後には生き物が好きになったと、保護者の前で発表していた。</p> <p>○かるたを通して、地域の自然をもっと大切にしたいという思いから、地域の清掃活動もしたいと、自主的に活動する姿も見られた。</p> <p>○子どもたちは、横浜の自然が減少していることに気付いたり、名瀬の自然について興味をもったりしていた。早く、名瀬の里山にいて、自然観察をしたいと意欲的である。</p> <p>○子どもたち一人ひとりが、「里山のよさ」を見つけることができ、地域の自然を大切にしていきたいという気持ちを養うことができた。</p>

○地域の自然を大切にしていけるためには、学校や地域をきれいにすることが必要であると考えた子どもがでてきた。そして、地域のごみ拾いのイベントを計画して、6年生や地域の方々と協力して活動をすることもできた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

○地域の自然や地域を守っている方々に出会い、自分の住んでいるまちを大切にしていることを改めて実感することができた。

学校は、もっと地域の人材を活用するべきだと感じ、環境教育を中心に「地域の人材」とのつながりを計画している。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

かるたづくりだけでなく、自分の住んでいるまちに関心を持たせ、自分たちで問題を発見しながら、解決方法等を考えさせていきたいと思った。より、主体的で対話的で深い学びを自分なりに実践していきたい。